

2025年に【ザ・パッションナズ】が世界ツアーを敢行したら・・・

わたしは30年来のビートルズファンです。いちばん好きなアルバムは、1968年に発表された「The Beatles」・・・。
最近「親子の会話が減ったなあ」と思う方は、ご両親にこんな話題を振ってみてください。
「ビートルズって、ホントに日本に来たの？」

本当です（笑）ビートルズは1966年6月30日から7月2日にかけて、日本武道館で公演を行っています（それはそれはすごい盛り上がりだったそうです・・・）
そのあと、ビートルズは何処に行ったと思いますか？フィリピンなのです。
（実は）ビートルズは1966年の8月で、コンサート活動を休止してしまうのですが、アジアで唯一行った国が日本とフィリピンなのです。
1966年当時、フィリピンの「マーケット価値」が相当高かったことがうかがえます。

さて時は移って2024年、ビートルズの再来といわれる「ザ・パッションナズ」がデビューを果たします。
男性ふたり、女性ふたりのこのロックバンドは世界中の若者に熱狂的に支持され、翌2025年【ワールドツアー】に旅立ちます。

およそ半年をかけて、全世界35カ国を巡るツアーなのですが、さて、「ザ・パッションナズ」はどこへ行くのでしょうか？
それぞれの国の【マーケット価値】を考えてくださいよ・・・。
2025年時点で、「ザ・パッションナズ」を受け入れる消費者がたくさんいそうな国はどこでしょうか？

アメリカ、西ヨーロッパ、日本、オーストラリア？ もちろん YES でしょう。
でも（もう少し）未来を概観してください。
2025年には、たくさんの【新興国】の中から、「中進国」の仲間入りを果たしている国があるでしょう。
もしかしたら、いくつかの国は「先進国」になっているかもしれません。

わたしなら、「ザ・パッションナズ」を、チリ、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、アメリカ（2回公演）、カナダ、日本、韓国（統一朝鮮？）中国（2回公演。台湾と一国二制度の場合、台湾含めて3回公演？）
ヴェトナム、マレーシア、シンガポール、インドネシア、

オーストラリア、インド（2回公演）、パキスタン、イラン、トルコ、
カザフスタン、イスラエル、ヨルダン、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、
エジプト、ナイジェリア、南アフリカ共和国、イギリス、フランス、ドイツ、
ポーランド、チェコ、ハンガリー、クロアチア、ルーマニア、イタリア、
スペイン、リトアニア、そして ロシア に連れていきます。

皆さん、【世界に投資する】とは、例えば 2025 年の
ザ・パッションナズ「ワールドツアー」をイメージしてみるということなのです。
たとえば、「ザ・パッションナズ」にとって、ドイツは公演を行うひとつの国です。
あなたにとってもドイツは、投資を行う「ひとつの国」ですよ。

確かに「ザ・パッションナズ」にとって、
アメリカや西ヨーロッパや日本などの「成熟国」は大切です。
しかし、これから【世界ツアー】を敢行し、活躍を続けていく彼ら/彼女らにとって、
CD や DVD や 関連グッズの売上げが【伸びていく】マーケットを開拓することは、
もっと重要なのではないのでしょうか・・・。

実はあなたのポートフォリオも同じなのです。
投資とは、地域の潜在成長力を【先買い】することですから、
「ザ・パッションナズ」と同じように、世界に広く投資することが大切なのです・・・。